

多汗症(手掌多汗症)治療開始のお知らせ

当院では5月より**手掌多汗症**に対する手術治療を開始します。

手掌多汗症とは？

日常生活で手の平に必要以上に汗をかいてしまう病気で、汗をかくことで紙を扱えない、コップを握めない、手を握れないなどの日常生活での不都合以外に、そのことが原因で性格が消極的になったりと、本人にとっては非常に深刻な病気です。

有病率は1%といわれており、潜在的な患者様は意外に多いにもかかわらず、恥ずかしくて病院に行けなかったり、本人・家族さらには医師までもが病気という認識がないことも多いため、適切な治療を受けていないことも多い病気なのです。

当院での多汗症の治療

クリーム、イオントフォレーシス、カウンセリングなどの保存的治療もありますが、いずれも持続的な効果や十分な効果が得られないことが多いようです。

当院では最も効果・根治性の高いと言われている**胸部交感神経切除術**という手術を行います。胸腔鏡という小型カメラのもとで行いますので、手術と言っても**ほとんど目立たない小さな傷**(3～5mm)が左右2箇所ずつ付くだけです。

手術は基本的に水曜日の午前中に行います。

入院期間

入院期間は1泊2日です。患者様の安全を考えて当日帰宅する日帰り手術は行っていません。

多汗症外来の開設

多汗症治療に関して**経験豊富な医師**による外来を開設します。

手術も同医師の執刀または立会いの下で行われますのでご安心下さい。

多汗症外来について

担当医師 大城 崇司医師

日時 毎週水曜日 午後2時から午後4時半

予約制となりますので、必ず電話などでご確認下さい。